

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 19 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for 岩瀬体育館管理運営事業 and 生涯スポーツ活動の振興.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (設置の目的, 施設の概要) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順 (職員7名, 臨時職員1名).

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図 and various indicators (e.g., 保守点検回数, 人口, 年間利用者数) with data for 28-32 years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input costs (事業費) for 28, 29, and 30 years, categorized by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel costs.

Table comparing 29年度事業費実績 (千円) and 30年度事業費予算 (千円) with itemized costs like 報酬, 旅費, 需用費, etc.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content (実施内容) for 30, 31, and 32 years, including a list of main activities like 市長マニフェスト and 未来PJ事業.

事務事業名	岩瀬体育館管理運営事業	事務事業No.	20402000078	所属課	スポーツ振興課
-------	-------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
岩瀬体育館の建設に伴い、平成6年度から施設の利用が開始された。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
経年使用の為、既存機器の交換の要望が多数ある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
現状維持	施設の老朽化に伴い修繕費や工事請負費が必要であるが、予算の確保が困難である。29年度にスポーツ振興くじ助成（otto）を利用して、メインアリーナ・サブアリーナの床改修工事を予定している。
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。	

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	市民の心身の健全な育成、健康の維持増進及びスポーツの振興を図るための体育施設の管理運営は、市民がスポーツを楽しむことができる機会と場の提供に結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市民が市内にある施設を利用できることは利便性が高く、スポーツを楽しむ機会と体力づくりと健康増進につながり、税金を投入するのは妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	老朽化により修繕箇所が増えているので、優先順位をつけた修繕計画をたて、修繕していく必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市民がスポーツを実践する機会が失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	類似事業なし
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	施設の経年使用による修繕費や保守点検委託料などの維持管理費に関して削減は困難である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	受益者負担の原則に基づき、使用料を徴収しているため、公平性が確保されている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	<ul style="list-style-type: none"> ・岩瀬体育館は、市民のスポーツ活動及び健康増進の拠点施設として活用され、年間延べ5万人を超える利用があるが、平成6年の竣工から23年が経過し、老朽化による修繕等の維持管理に関する費用が増えている状況にある。 ・平成31年度に開催される茨城国体において、チームライフル競技の会場となっている。 																								
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																										
(3) 今後の事業の方向性																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
・老朽化により修繕箇所が増えているので、利用者の安全の確保のため、優先順位をつけた修繕計画をたて修繕をしていく。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>X</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>X</td> <td>X</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			X	低下		X	X
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持			X																						
	低下		X	X																						
(6) 事務事業優先度評価結果																										
成果優先度評価結果		⑦																								
コスト削減優先度評価結果		①																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>